

## 2日目 沖縄科学技術大学院大学(OIST)

### キャンパスツアー



OISTで研究を行っている方々にキャンパス内を案内して頂きました。研究内容とともにそれを行っている装置も見ることができました。フェムト秒というとても短い時間だけレーザーを照射し、観察する装置や、それに使うパルスレーザーを作る装置など、興味深いものが沢山ありました。装置の説明は一部英語で、日本語でも難しいことを英語で理解できるのかという不安はありましたが、それを上回るほどに魅力的な内容で、それを忘れてしまうほど楽しむことができました。

### 講義



2日目の午後、英語で行われた2つの講義を受けました。どちらの講義も世界で研究が進む最先端の科学技術に触れるものでした。

1本目は、太陽電池に使われる半導体について。P型・N型シリコンや光電効果、電子の移動など断片的に知っていた内容が次々と結びついていくのが面白く、実際にどのような技術に応用されているのかを知ることによって知識が実生活や技術に直結していることを実感しました。

2本目は、超伝導をテーマにした体験型講義。磁石の上の物質が浮いている様子や冷やした葉が浮かびながら回転する様子を目の前で見せてくださり、知識だけでは味わえない科学の不思議に驚きました。

どちらの講義も、英語や専門用語に戸惑う場面はありましたが、OISTの方が高校生にもわかりやすく噛み砕いて説明してくださり、言葉の壁を越えて科学を楽しめました。「難しい」が「わかる！面白い！」に変わる瞬間を何度も味わえた、貴重な体験でした。

### 実習



今回の実習講義では、医療現場で使われている医療用縫合について学習し、縫合の意義や期待される効果、必要とされる場面などを知りました。

講義後半の実習では、実際に用いられる医療器具に触れ、傷口に見立てた溝を縫合する実習を行いました。縫合する糸のついた針を、ピンセットで繊細に扱うことは難しく、患者の皮膚（見立てたもの）を突き破ったりもしながら、縫合し切れた時はとても達成感が得られました。

普段であればできない、貴重な体験となりました！

# 食事

## morning☀️inみゆきハマバルリゾート

目の前に海が広がるホテルの朝ご飯はビュッフェ形式。沖縄のパイナップルの美味しさは桁違い！味付けのりが普段食べているものよりも薄い色なのにびっくりしました。野菜チャンプルや漬物など沖縄でしか味わえないものをたくさん食べることができました。

## lunch🍴inOIST

お昼ご飯はOISTの国際色豊かなご飯を食べました。レストランやカフェ、売店など実際に研究者の方々や学生の方々が利用している施設を利用できました。OISTの方々と同じ場所で同じ食事をとることができることは私たちにとってとても貴重な経験になりました。海外にいるような感覚で、生の英語での会話や行動などをまじかで感じることができました。また、レストランからはこの2泊3日で1番美しい海を眺めることができました。

## dinner🍴in国際通り

国際通りに面する南西観光ホテルに宿泊し、現地の飲食店を自由に訪れました。沖縄を感じながら沖縄ならではの食事を楽しむことができました。生の沖縄を肌で感じる事ができた瞬間です。



↳ morning☀️

↳ lunch🍴



↳ dinner🍴

# 感想

OISTを訪れて最も印象的だったのは、分野の垣根を越えて研究者同士が連携し、学際的な研究が行われている環境でした。専門の異なる研究者たちが互いの知見を活かして協力し合う姿勢は、複雑な問題を解決する研究のあり方を体現しているように感じました。

また、世界中から優れた研究者が集まり、英語を共通言語として活発に議論が交わされている様子から、OISTの国際性の高さを実感しました。多様な価値観や視点が交差することでよりよい研究に繋げようとする姿勢に感銘を受けました。

さらに、OISTは研究設備が充実しており、研究者が自らの関心に基づいて自由に研究を進められる環境が整っていると感じました。

この体験を通じて、自分が普段触れている学問の世界がいかに限られた範囲でしかないかということに気付かされました。OISTでの経験は、学問の世界がいかに広く奥深いものかを実感する貴重な機会になりました。これからも積極的に新しいことに触れていこうと思います。